

自治体初の新システムを導入した避難所開設訓練行われる

7月29日(水)13時30分～調布市立第3小学校で調布市による避難所開設訓練が行われた。調布市は昨年の台風19号では、水害被害が発生し、現在も日本各地で水害の被害が出ている。地震もいつ起こるかわからない。それに加え現在のコロナウイルスに依る感染症問題。災害が起こった時、私たちはどこに逃げれば良いのだろうか？調布市では、上記の事を想定した取り組みと訓練を7月に4回、災害協定締結企業のサイボウズ株式会社とサクラボックス株式会社と連携して行った。29日は、報道陣にも公開され、1 感染症対策を講じた避難スペースの設置訓練、2 ダンボールベットとパーテーションの設置訓練、3 避難所受付・情報発信システムの検証等が行われた。

3密を避けるための感染症対策を行うとすべての避難所を解放したとしても避難できる人数が限られていることがわかる。避難所の受付でQRコードを利用し事前に避難所の混み具合を市のHPに掲載することによって混んでいない避難所を選ぶ事ができる。受付で登録することによって、感染症の情報も即座に濃厚接触者に伝える事ができるようになる予定だ。まだ訓練なので、色々な改善点が浮かび上がってきたと思う。本番に向けてどんどんブラッシュアップしてほしい。また、新しいシステムを導入しても、それを使いこなさなければ、絵に描いた餅になりかねない。実際に避難所立ち上げと運営の中心となる役所や公的団体も勿論だが、非常時各種の能力のある市民との連携も大事である。一致団結して危機を乗り越えよう！
(編集部)

1万円で1万3000円の商品が買えるプレミアム付き商品券の販売

新型コロナウイルスの影響で売上げが落ち込んだ市内の商店や事業者を支援するとともに、市内の経済の活性化を図るために市はプレミアム付き商品券(正式にスーパープレミアム付き商品券)を販売する。1冊1万円(500円券26枚つづり)で、1万3000円の商品が買えるプレミアム率30%のお得な商品券で20万冊発行。予算総額26億円の大型プロジェクトで、6億円をプレミアム代として市が受け持つ。申し込みの受付は8月下旬から。リーマンショック後の平成21年(2009年)、市の商業協同組合(すでに解散)が10%のプレミアム商品券を出したが、このときは先着順で1人10冊まで。4時間で完売し買占めも起きた反省から、今回は事前予約制で1世帯につき5冊までとした。産業振興課商業観光担当の伊東良之課長に詳しく聞いた。

① 事前予約制と申し込み方法。8月20日の市報にチラシを挟み込み、この中に申し込み用ハガキを付ける、それを切り取って応募してもらう。又は市のHP(ホームページ)からWEBでの申し込み。商品券の引き渡し場所は後日発表②利用開始と使える場所。販売は9月下旬からで利用は来年1月末まで。使える店は大型商業施設など1000店舗を予定。伊東課長は最後に「各商店が自分で作ったモノを売り、お客さんはそれを買ってお金が動く。こうしたことで市内の経済を循環させたい。10万円の定額給付金を市内のお店で使ってもらい、市内のお店、特に個店を盛り上げて欲しい」と話す。感染症防止対策をしながら頑張る市内の商店での買い物。これもコロナ時代の商店の生業を支援するひとつでしょう。(大泉 洋一)

【FC 東京応援記】 今は帆高が赤丸だ！

大卒3人組がチームの底上げをしている。安部、紺野は特別指定として昨季すでに青赤に袖を通していたので想像はできた。想像以上に急成長しているのが中村帆高である。正直、2月の開幕戦はスクランブルで、前半などは地に足がついていなかった。しかし再開後は、彼の本来の強みであるスピードと闘争心を前面に出し、サイドの相手を自由にさせないルーキーらしからぬ奮闘を見せている。まだテクニクに翻弄される場面もあるが、出場する度に成長しているのが判る。本来は右だが、左も十分にやれる。左には背番号‘6’を受継ぎ、期待値の高い小川がいるが、時折、軽さや判断の遅さが見られる。今は帆高が赤丸だ。小川、ここで奮起しないでどうする。才能を埋もれさせるな！(日比生)



図書館は地域の学校へ働きかけ、利用を進める事業を行っています。富士見分館では石原小学校の児童向けに「じろといしわらっこのじけんぼ」を9月30日まで行います。図書館にある本を手掛かりに情報を集め、人物を特定する(探す)クイズです。小さな探偵たちが続々と挑戦しています。読書のきっかけにもなっているようです。



2020年8月 番組表



<調布市民放送局の番組を見ることができます>

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

放送日時の変更:7月18日(土)~8月13日(木)08:55→18:55 17:55→21:55

放送日時の変更:8月22日(土)17:55→18:55

テ
レ
ビ
番
組

	月	火	水	木	金	土	日
	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55
1日	@調布国際音楽祭 コロナ感染拡大防止を受け中止となった「第8回調布国際音楽祭」がオンライン音楽祭「@調布国際音楽祭2020」として開催。調布から世界に向けて数々の音楽が配信されました。						
15日	オンライン音楽祭の舞台裏から、初めてとなる音楽家100人による第九のオンライン演奏をご覧ください。						
16日	特別番組「遮断機のあった頃」 新型コロナウイルスの影響で、番組内容を変えてお送りします。この機会に調布の懐かしい映像を見てみませんか？						
31日	第1回は、京王線地下化切り替え工事の様々と、地下化工事完成の1年後に作成した「遮断機のあった頃」そして現在の調布駅の様子をお伝えいたします。						

ラ
ジ
オ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分~22時00分)

調布 FM:83.8MHz HPからは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！

月	放送日	内容	ご紹介
8月	3日(第1回目) 10日(第2回目) 17日(第3回目) 24日(1回目再放送) 31日(3回目再放送)	ゲスト: 豊嶋正氏 インタビュアー: 柴田紀恵子	(フランスレストラン スリジェのシェフ) コロナ禍、5月31日、45年続いたお店を閉店されました。豊嶋さんの生き方、スリジェの歴史、料理のお話、そして今後の意気込み等をお聞きました。

HP

新型コロナウイルスの影響で家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見てみませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

🔍 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP) (すべての番組2015年~現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)(2004年4月~2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局)(2015年~)



医療費の還付金を語る 電話は詐欺と思え！

市内で医療費の還付金詐欺が多発しています。今年に入ってからの特殊詐欺のなかで一番多いのがこの事例。市の職員を名乗り、ATMに誘導してお金を振り込ませる手口です「電話口で相手が医療費還付金を言い出したら詐欺と思い、警察に連絡を」と調布警察署(電話042-488-0110)が呼び掛け。

手指の消毒用アルコールは 引火しやすいので要注意

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、家庭でも手指の消毒用アルコールを使用する機会が増えました。このアルコールは引火しやすい。「置く場所は通気性の良い所、コンロ等を使用する調理場では使わないようにしましょう」と、調布消防署(電話042-486-0119)が注意喚起しています。



<ご意見・ご感想をお待ちしています> ●メール catch@chofu-catch.sakura.ne.jp ●☎070-5576-1429

●郵便〒182-0022 調布市国領町2-5-15、調布市民プラザあくろす2階 市民活動支援センター-気付

【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原1-48-14